



Since 2002

## アドプト現場に **ADOPT REPORT** あじやましました！

### 藍住中学校



藍住町立藍住中学校（西山伸二 校長）は正法寺川のほとり、周囲に図書館、文化ホール、体育館などが並び立つ恵まれた環境にあります。生徒達の主体性を高めようと、2022年度より生徒会活動にSDGs（Sustainable Development Goals／持続可能な開発目標）の視点を取り入れ、全校生徒592人が9つの専門委員会に分かれて活動しています。

2022年10月19日、3年ぶりとなるアドプト・プログラムが行われました。正法寺川の藍住橋～奥野橋間1200mを生徒会が、学校周辺を部活動単位で担当し、全校生徒による大清掃です。「ビニールやプラスチックが多いなあ」「こんなゴミがある！」——生徒達にとっては初めてのアドプトなので、なにもかも新鮮です。一生懸命に、そして楽しそうに清掃に取り組む生徒達の姿はいきいきと輝いていました。



正法寺川の清掃を担当された皆さん。集合写真に入れなかった皆さん、ゴメンなさい!!

吉野川を私たちの手でもっときれいに！  
清掃活動中の現場に取材にうかがいます。  
活動日が決まったら、まずは事務局にお知らせください。

3年生のリードで手際よく約30分の活動が終了。生徒会長の窪 寿輝さんは「思ったよりゴミが少なかった。日頃の近隣の住民の皆さんの努力の賜物だと思います」と感謝の思いを、環境委員長の青山翔汰さんは「藍住町と僕達のさらなる成長のために、いい経験になりました」と、しっかりと語ってくれました。



↑生徒会や環境委員会の役員を中心にいきいきと活動。頼もしいリーダーたちです

←左から生徒会長の窪 寿輝さん（2年）と、環境委員長の青山翔汰さん（2年）

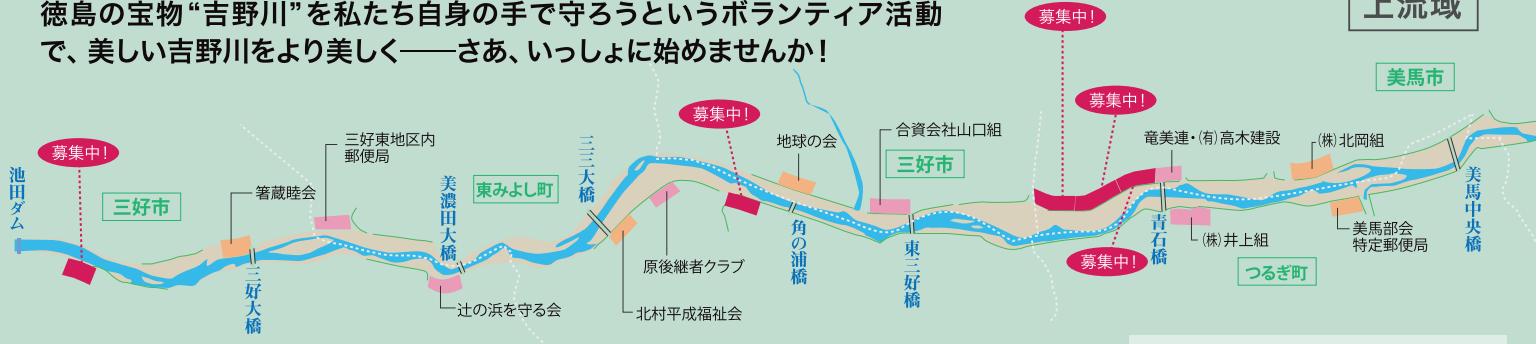


## 四国三郎・吉野川はかけがえのない私たちの家族 参加しよう！アドプト・プログラム吉野川

徳島の宝物“吉野川”を私たち自身の手で守ろうというボランティア活動で、美しい吉野川をより美しく——さあ、いっしょに始めませんか！

上流域

美馬市



### ①アドプトとは“養子縁組”的こと

吉野川の土手や河川敷を子どもに見立て、その一定区間と企業や住民グループが養子縁組(Adopt)します。吉野川を自分の子どものようにかわいがってくださいね。

### ②清掃美化ボランティアを行います

担当する区間の清掃・美化活動を定期的に行います。  
活動を続けることで、どんどん吉野川への愛着が深まります。

### ③看板が立ちます

吉野川の土手や河川敷に、団体の名前を記した看板が立ちます。ちょっと誇らしい気持ちになります。

### ④こんな効果があります

ゴミが少なくなり、吉野川が美しく、清潔に保たれます。  
それと同時に、参加した人の心まできれいになります。  
汗を流してゴミを拾ったら、ゴミを捨てられなくなります。  
また、この活動を目にする多くの人の環境への意識を高め、  
川を大切にする人の輪がますます広がることが期待できます。

■のエリアは団体募集中です。  
それ以外も縁組可能なエリアはありますので  
どうぞ気軽にお問合せください！  
吉野川交流推進会議 ☎088-621-2743

